

自然豊かな森をスケッチ

ポスター原画コンクール

平成19年度国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール(国土緑化推進機構主催)で、童森小学校(明石勝美校長、2年の堀部竜誠(りゅうせい)君が準特選、林野庁長官賞を受賞しました。

本コンクールは、1950年から続く歴史あるコンクールで全国の小中学校や高校生を対象にしており、今回の応募総数は、6万5938点で大規模なものです。

この度、北海道苫小牧市で行われた第58回全国植樹祭会場で表彰されました。



▲市長に原画を描いた時の気持ちや表彰式の様子を説明する竜誠君

街中の花で国体選手らを歓迎

森吉地区・合川地区で花植栽



▲プランターに丁寧に花を移す、老人クラブと婦人会の皆さん

秋田わか杉国体まで3か月となり、山岳競技が開催される森吉地区とフェンシングが開催される合川地区で、国体選手を花で歓迎しようと、花の植栽作業が行われました。

森吉地区では、7月7日に森吉支部老人クラブ(佐藤篤市会長)と森吉婦人会(北林カツ会長)が合同で約1000個のプランターへペコニアやマリーゴールドなど約2500株の花を移植しました。

この日は真夏日にもかかわらず、両会員約100人が参加し、額に汗を流しながら約2時間ですべてのプランターが色とりどりの花で綺麗になりました。



▲国体選手を歓迎しようと、額に汗をして作業に励む合川ことぶき大学の学生

合川地区では、市の生涯学習講座・合川ことぶき大学(学生88人)の花植えが6月23日、市民健康広場で行われ、学生ら約80人が参加しました。
この取組みは、同大学が地域奉仕の一環として毎年行っていますが、今年は国体が開催されることもあり、国体選手の歓迎も兼ねてマリーゴールドとサルビアの苗1300株を植えました。
花壇の中央には合川体育館で行われる、フェンシング競技の看板も設置されていて、植えられた花と共に国体の宣伝に一役買っています。
両地区で植えられた花は、大会当日にはそれぞれの会場で参加した方々の目を楽しませてくれることでしょう。

赤十字や男女共同参画に功労

厚生大臣・内閣官房長官から表彰

このほど、赤十字奉仕団での後進育成・指導などの尽力により厚生大臣表彰を、また地域の女性史研究などの功績により内閣府の男女共同参画社会づくり功労表彰を受賞した中嶋喜代さん(86歳)が、女性史研究会のメンバーとともに市役所を訪れ、岸部市長に受賞を報告しました。

中嶋さんは、「厚生大臣表彰は、役職を長く務めていたことが受賞に結びついたもの。また男女参画活動については、たまたま代表だっただけで、女性史研究会のメンバーの協力のたまもの。健康を保ち、これからもできるだけ地域に貢献したい」と、各種活動への意欲を述べていました。



▲ダブル受賞の喜びを市長に報告する中嶋さんと女性史研究会のメンバー

若者パワーで商店街に活気を

鷹巣農林高校大綱引き大会



▲若者パワーで賑わいをみせた銀座通り

県立鷹巣農林高校(那須正美校長)の「大綱引き大会2007」が6月23日、鷹ノ巣駅前・銀座通りで開催され、歩行者天国となった商店街が若者たち熱気であふれ返りました。

このイベントは、同校の生徒会が地域の活性化に役立てることはないかと自ら企画したもので、今年で7回目の開催になります。

午前10時30分、綴子太鼓の合図とともに試合が始まると、生徒同士、社会人同士、また生徒対社会人と、各ゲームに熱戦が繰り広げられ、沿道から見守る観衆が熱い戦いに大きな声援を送っていました。

会場の周辺では生徒らが、同校で栽培された花等が販売されて関心を集めていました。

豪風関に続けちびっ子力士

小中学校相撲大会で気迫の取組

大館北秋田小中学校相撲大会(兼全日本小中学校相撲都市予選会)が6月24日、阿仁合小中学校相撲場で開催され、白熱した戦いが繰り広げられました。

大会には15校130名の選手が参加、団体戦・個人戦が行われ、豪快な投げや押し、土俵際でねばり大逆転するなど気迫溢れる好取組が相次ぎ、会場を大いに沸かせました。終始礼儀正しく、体格の優劣にかかわらず全力でぶつかりあう選手たちに、大きな拍手が贈られました。

団体戦では、前田小学校が優勝したほか北秋田勢が健闘しました。全県大会や全日本秋田県予選の活躍が期待されます。



▲真剣勝負の力強い取組